



無事故達成

2か月間にわたる年末年始無災害運動が終わりました。危なかつたとかヒヤリとした瞬間はあったと思いますが、物損事故を含めて無事故を達成することができました。12月は積雪が多く、作業環境も厳しい日が続きましたが、年が明け寒の入り過ぎてからは穏やかな日が多く、スリップ、転倒等の冬季型災害の発生要因が減ったことも幸いしたと思います。

しかし、災害は環境要因だけでなく起こるわけではありません。うっかりやぼんやりなど、人に起因する事故のないよう今一度気を引き締めましょう。



～Facebook～



1月6日今年の仕事始めは、フクタのfacebookを立ち上げた。2年前より会社のホームページの作成に取り掛かってきているが、中々出来てこない。様々理由はあるがもう待ってられない。エイ！と思い切って自ら会社のfacebookを立ち上げた。この広報誌の担当でもあるY部長には週3回は更新するようにと注文を付けた。現在私を含め3名の社員で更新するようにしている。外部の方からのコメントも寄せられるようになりそれなりに反応がある。弊社は会社名がカタカナで「フクタ」この名前だけでは何の会社かわからない、より一層会社や仕事について発信しなければ認知されない。

世の中の仕事の中で砕石屋はマイナーな存在かもしれない。いや決してそんなことはなく砕石がなければ・・・道路、建物、トンネル、橋、などなど世の中に無くてはならない大事な建設資材なのだ。そんな砕石業に社員が誇りをもって働ける職場とするために、この仕事をこの会社をPRしていきたいと思っている。

是非皆さん「いいね」お願いしますね。(^-)-☆

「フクタfacebook」 <https://www.facebook.com/株式会社-フクタ-101471941388197/>

旗艦機の変遷

採掘部門の中核を担ってきたパワーショベルCAT365を更新し、CAT349を導入しました。重機の兄貴分いえる旗艦機です。この機械の変遷をたどると、昭和の時代に100トン級のパワーショベルを導入したことに端を発します。以来今回で4代目となりますが、その間100トンから80トン、65トンと小型化し、今回50トン級という選択になりました。小さくなくても作業性や経済性が向上し、同等の仕事をこなしてくれると期待しています。新しい機械の陰で、役目を終えてひっそりと解体され退役していく機械をみると、よく頑張ったなとねぎらいたい気持ちになりました。一つの世代をつなぎ、次の世代へ伝えていく。知らず知らずのうちに歴史に重み加わっていくのだと感じました。



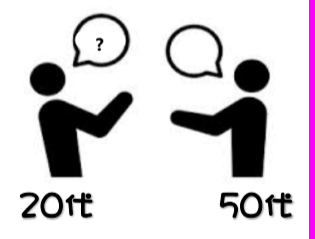
バラバラにされ運ばれていきました。



～死語について～

事務所での会話を小耳で聞いていたら、「ダビング」という言葉を知らない若者がいた。さあもありなん。現代の変化の速度は速いのだ。と無理やり納得しようとしたが、つい消えてなくなりそうな言葉が浮かんでくる。死語となった言葉は数知れない。流行が廃れることによる死語。思想や行動が変化することによる死語。対応するものが無くなることによる死語。物が無くなってしまふ言葉自体も流通しなくなってしまう。「ポケベル」や「レーザーディスク」など、「昔々ポケベルというものがあつたとき」という昔語りに使われる役割しかなくなってしまうだろう。

転じて「砕石」は、流行の波に流されず、骨太で硬派な言葉という印象である。人知れず下支えしているだけなのだが、そこに普遍性があり、死語にはならないのだと手前味噌ながら思う次第である。



寒中の雨

大寒を過ぎたあたりから異常に温かく、季節が1か月ほど先になったようです。そして寒中にもかかわらず、流れるほどの降雨。冬はいったいどうなったのでしょうか。季節のけじめがつかなくなっていました。困ったものです。

珍魚

市内の新年会で「テラピア鍋」をいただいた。アフリカ原産のこの淡水魚を金田一で養殖しているそう。鯛に似た魚体で、おいしい。普通に魚屋さんで買えるようになればいいのだが、店頭で見かけることがない。残念・・・



編集後記

最近、獣医さんのお友達と会話をして気づいたことがありました。牛だってお産しないとお乳が出ないんですね。何度とお産を繰り返しながらお乳を出荷させているわけです。私ったらホルスタインはお乳が勝手に出る動物と勘違いしていたことに気づきました。バカでした(笑)

そしてなんだそれ？と思うようなお話を聞きました。ホルスタインのお腹を借りて和牛の受精卵を育てる。ホルスタインのお腹から生まれたけれど和牛の赤ちゃんと言われ、岩手で生まれてもその土地で肥育されれば〇〇牛と名付けられる。いや～すごいことだ！